

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年5月21日(日)午前10時～11時30分
場 所 大井会館（大井本町町会）
参加者 17人



主な意見等

参加者 今年、町会では様々な事業を予定しており、既に行った餅つき大会やタケノコ掘り大会では40人ほどの参加がありました。半分近くは町会に加入していない人たちですが、私たちの町会は断ることはせず、町会活動を知っていただくために参加してもらっています。

本年度から「分館」の在り方が変わり「会館」と名称が変わりました。町会で気づいて直せるところは自分たちで直していますが、女性用トイレに和式が1つ残っているなど町会だけでは対応が難しいところもあるため、市で相談に乗っていただけないでしょうか。

市長 4月に社会教育施設である大井中央公民館の「分館」から地域コミュニティのための「会館」に生まれ変わりました。女性用トイレの2つのうち1つが和式のままということですが、他の会館では洋式が一つもないところもあります。特に要望があった訳ではないですが、「会館」に生まれ変わるこのタイミングで、まずは会館のトイレを何とかしようということでも今まさに進めているところです。その他にご要望があれば協働推進課にご相談いただければと思います。

また、餅つき大会などのお話についてですが、コミュニティ促進を図るための補助金を令和4年度限りということで昨年補助しましたが、令和5年度も継続していますので是非ご活用いただければと思います。

ます。

参加者 夫婦で農業を始めて15年ほど経ちましたが、両脇の畑は耕す人がおらずスギナが異常発生していてボーボー畑になっています。私たち夫婦があと10年農業やったとしても、その後は畑が原野になってしまうのではないかと心配しています。世代交代で若い人が農業をやらないと砂川堀一帯がボーボー畑になってしまいかねないので、市で何とか対応をしていただけないでしょうか。

市長 農家の後継者不足については、近年始まった問題ではなく、農業従事者の方たちの代表が集まる農業委員会でも、このままではいけないということで話し合いを行っていますが、そもそもの農業離れがあり従事しようという後継者が減っている状況です。産業振興課では、農業に関心のある方を対象に2年間のカリキュラムで農業を学ぶ農業入門塾を実施しています。今後の人生で農業に携わろうという方を一人でも増やせればと考えております

参加者 市報にあんなに良い紙やカラフルな色を使う必要があるのでしょうか。とても見やすい市報で良いのですが、市報の作成に係る予算を見直して、他のことに使った方が良いのではないのでしょうか。

市長 同じようなご意見を他のタウンミーティングでもいただいておりますが、実は印刷事業者のご努力によって、白黒印刷と変わらない金額でカラー刷りの市報を作ることができています。紙質についてですが、家によってはポストがなく玄関横に挟むだけのお宅もあります。多少の風雨にさらされても読めるように一定程度の紙質は必要と考えて今の紙を使わせていただいております。

市の予算は皆さんからお預かりした税金ですので少しでも節約していきたいと考えております。1円たりとも無駄にしない、勿体ないことはしない、無理して背伸びをせずに身の丈にあった行政運営をしていこうという思いで、予算を有効に活用できるよう努めてまいりたいと思います。

参加者 集団ではないのですが、夜中に爆音で走行する暴走族のような車がよく通ります。通常であれば、爆音で走る車の後にパトカーが続くと

思うのですが、一度もパトカーのサイレンを聞いたことがありません。是非、安心して安全なまちづくりの一環として市長にご対応いただきたいと思っています。

市長 情報をご提供いただきありがとうございます。この町会エリアで出たご意見ということで、暴走行為などについては警察にしっかりと伝えたいと思います。

参加者 クレジットカード会社に勤めているのですが、最近、情報商材の詐欺が増えています。「電話で1件相談を受けるだけで1回当たり数十万円の報酬が貰えます」という謳い文句で高額な登録料やテキスト代の支払いを求められる詐欺被害が多くなっています。振り込め詐欺とは異なり、20代から30代が被害に遭う例が多いので、振り込め詐欺対策だけではなく、市として情報商材詐欺の防止にも取り組んでいただけないでしょうか。

市長 貴重なご意見ありがとうございます。高齢者の振り込め詐欺だけでなく、危機管理防災課と対応を検討したいと思います。

参加者 東台小から川越街道に抜ける道路についてですが、道路の拡張の進行状況について教えてください。

市長 道路の拡張については鋭意努力をしておりますが、隣接地には民地もあり、ご協力やご理解をいただければ拡張を進めることは難しい状況です。また、個々のお宅にもご事情があるかと思しますので、市としては慎重に対応をしていきたいと考えております。

参加者 東台小から浅井住宅までは公共下水道管が通っていますが、その先の地域については、いつ頃公共下水道管が整備されるのでしょうか。

市長 東台小学校の周辺は本来、調整区域であり公共下水道管を整備するというのは難しい場所なのですが、学校を整備するのに当たって公共下水道を整備した経緯があります。市内全体としては、調整区域の公共下水道整備を令和4年度から工事を始めたところで、大井エリアは

令和5年9月頃にふじみ野高校の横あたりの西原地区から順次整備をしていく計画となっています。市内全域を一気に進めたいところですが、工事の発注も一度に進めることが難しい状況ですので、エリアや順番を決めて整備を進めていく予定です。

参加者 弁天の森に隣接する家は何軒かありますが、1、2時間かけて宅地内に落ちてきた葉っぱの掃き掃除をしている姿を見かけます。市から箒を1、2本支給してあげられないでしょうか。

市長 弁天の森は全てが公有地ではなく、民地の部分があります。市はこれまで弁天の森を特別緑地保全地区に指定し、計画的に公有地に変え、保存に努めてきました。今まで積極的に弁天の森の保存に尽力されてきた保存会の方たちや樹木医などのご意見やご指導を踏まえて、自然を守る上での方策を検討しながら、周辺の方へのご迷惑とならないような対応を考えていきたいと思っております。後程、該当箇所について教えていただければと思います。

参加者 危険な道路があります。市が私有地部分を買収するなどして早期に対策を講じていただけないでしょうか。

市長 市から地権者に話をさせていただくことはありますが、地権者の都合もあることですので、個別具体的な対応状況等についての回答は控えさせていただければと思います。

参加者 東台小学校の閉校の話があったそうですが、建設当時の想いを考えると、簡単に「閉校」という言葉を出すべきではないと思います。アンケート結果には、クラス替えができなくて可哀想だとか単純な理由が大半だそうで、そのような理由で閉校というのはおかしい話だと感じます。

市長 本日、東台小学校で2回目の説明会が行われていますが、まず皆さんに知っていただきたいのは、市では閉校を決定しているわけではないということです。また閉校ありきの方針で話を進めているわけでもありません。開校して間もない小学校ではありますが、現在の児童数

は全学年で116人です。令和7年度になりますと90人台と見込まれています。全学年1クラスですが、1クラス15人しかいない学年もあります。しかし、中学生になりますと、今までの小規模校から大勢の生徒がいる環境へと変わり、雰囲気が大きく異なる状況となります。

市としては、東台小学校の「閉校」ということではなくて「元に戻す、東原小学校に通っていただく」というのが良いのではないかと考えているところであり、保護者の方からも同様の意見が見られます。元々はマンション開発などによりマンモス化した東原小学校の対策として東台小学校ができたという経緯がありますが、東原小学校のままにしたいと望まれた保護者が多かったため、東台小学校の学区を広げることができませんでした。それにより東台小学校は開校した翌年から児童数が減少しているという経緯があります。

学校というのは今通っている子どもたちだけではなく、これから入学してくる子どもたちもおりますので、今は私が責任者として将来を見据えて保護者の方の意見などをお伺いするために説明会を開かせていただいています。